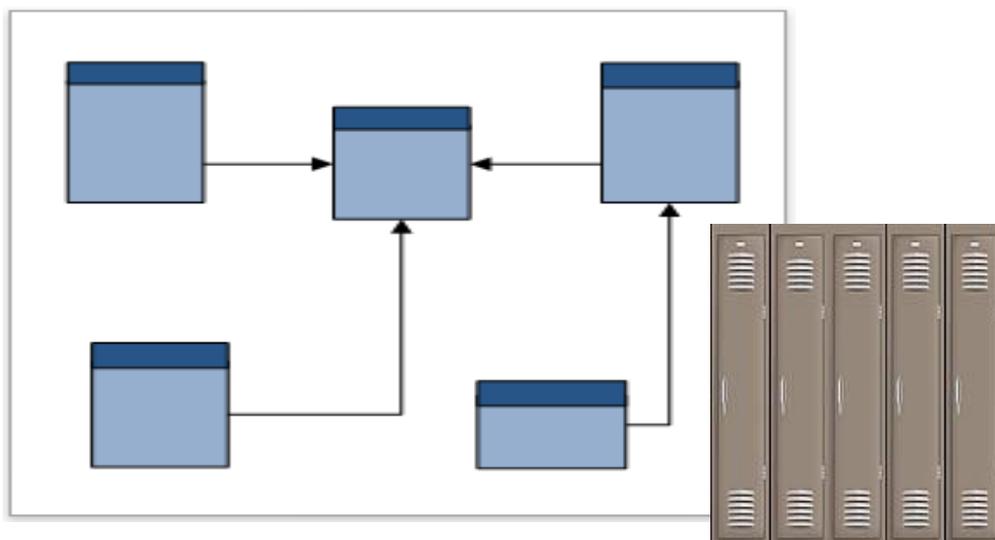


データベース不具合調査および対応 レスポンス調査及び、チューニング



Oracle オンライン・バックアップの環境構築
業務を続行したままの状態、バックアップ処理を行うことができます。

このためのアーカイブ Redo ログファイルを利用したデータベース環境を構築します。

障害時データのアーカイブログ反映リストア
障害発生時のデータ復旧を、前日のバックアップとアーカイブ Redo ログファイルを利用してフォワードリカバリを行い、障害が発生した直前の完全状態に復元します。

ボトルネック部分の調査と改善
レスポンスが悪い処理を、原因分析して改善させます。

システム・チューニング
システム・リソース（メモリ資源やストレージ資源）を、効率よく分配することにより、Oracle データベースの処理能力を向上させます。
また初期化パラメータを変更して、パフォーマンスを上げます。

SQL・チューニング

アプリケーションで実行しているSQLステートメントの効率が悪いものを見つけ、SQLステートメントの書換えやインデックス作成により処理時間の短縮を図ります。

データベース障害とトラブル対応

ログファイルやアラートログファイルからデータベースで発生している現象を見つけ、原因調査を行い対応します。

また、不足しているリソースが見つかった場合には、未使用領域の解放を実施し、資源の有効化を行います。

また、必要な場合はインデックスの再作成やエクステンツの再配置を行います。

リモート分散データベース環境構築

Oracle グリッド・コンピューティングや Oracle リアルアプリケーションクラスター技術を活用して、複数のサーバを結合して論理的な1台の高性能コンピュータとして運用させます。

また、これにより1台のサーバに何らかの障害が発生しても、他のサーバに引き継がせて処理が続行されます。